

広島県下一円の鉄骨  
ファブリケーターを中  
心に組織する協同組合  
広島県鉄構工業会はオ  
イルショック後の景気  
落ち込みを団結の力で  
乗り越えようと、19  
73年に任意団体とし  
て会員数120人で発  
足、翌年法人組織に変  
更し、坂辺治詞氏が初  
代理事長に就いた。今  
年50周年を迎えるに当  
たり、5月25日に広島  
市内のホテルで50周年  
記念式典を開いた。半  
世紀を超えて活動して  
きた組合の現在地を10  
代目理事長・山本泰徳  
氏（ステントス社長）  
に聞いた。

（小田 琢哉）

——現在の組合員数は。

「現在の組合員数は80社  
（H8社、M25社、R24社）。

親団体である全構協の地方  
団体としては、全国ベスト  
5に入る人数の規模だ。鉄  
骨ファブにとって厳しい時  
代もあったが、政令指定都

## 広島県鉄構工業会 創立50年の現在

### 山本泰徳理事長に聞く



「長年、鉄骨業界のファ

ジーな商慣習に違和感を覚  
えて、組合活動の中で行政  
や組合員に対し改革案を言  
い続け、業界の社会的な地  
位向上・認知度向上に努め  
てきたことで、当組合は全

構協の中でも先進的な活動  
をしてきたと自負してい  
る。鉄骨業界は創業者から

2代目、3代目の時代へと  
移行しつつあることを背景

織改革を行い、後継者以外  
の経営幹部や技術者に参加  
資格のウイングを一気に広  
げて切磋琢磨する場とし  
た。今回の記念式典では、

「Hグレードは1年以上  
の受注量を確保しているも  
の、地方ファブは先細り  
の時代を迎えている。北海  
道や九州は半導体工場の超  
大型案件があるが、広島を  
含め地方の中小案件需要は  
低調で、低グレードファブ

——公共工事見積もり有  
料化は特筆すべき事例  
だ。

「鉄骨ファブは従来、公  
共工事の鉄骨工事の積算見  
積もりを慣例的に無料で実

当時は抵抗が強かったが、  
今では「広島方式」として、  
全国的に浸透している」  
——今の鉄骨業界をどう  
見るか。

「Hグレードは1年以上  
の受注量を確保しているも  
の、地方ファブは先細り  
の時代を迎えている。北海  
道や九州は半導体工場の超  
大型案件があるが、広島を  
含め地方の中小案件需要は  
低調で、低グレードファブ

——公共工事見積もり有  
料化は特筆すべき事例  
だ。

## 公共工事見積もり有料化、広島方式浸透

### 青年部躍動、次代に向け未来宣言

市・広島は各種業界の企業  
が、会員数維持につながっ  
た製造業の街でもあること  
から、公共・民間の需要が  
してきた。

に、組合の理事に若手を多  
く登用し、青年部に予算を  
傾注するなど次世代のリー  
ダー育成を進めている。2  
015年度には青年部の組  
から有料化に切り換えた。

——現在の組合員数は。

「現在の組合員数は80社  
（H8社、M25社、R24社）。

「Hグレードは1年以上  
の受注量を確保しているも  
の、地方ファブは先細り  
の時代を迎えている。北海  
道や九州は半導体工場の超  
大型案件があるが、広島を  
含め地方の中小案件需要は  
低調で、低グレードファブ

——公共工事見積もり有  
料化は特筆すべき事例  
だ。